



Secure Mobile Access 10.2

アップグレード ガイド

-- SMA 100 シリーズ

SONICWALL®

# 目次

はじめに .....	3
アップグレードに関するナレッジ ベース記事 .....	3
最新の Secure Mobile Access ファームウェアを入手する .....	4
現在の構成設定のコピーをエクスポートする .....	5
新しいファームウェアで装置をアップグレードする .....	6
セーフモードを使用して SMA 物理装置をリセットする .....	7
構成設定をインポートする .....	8
構成のインポートをサポートする SMA バージョン .....	9
プラットフォーム別の構成インポートのサポート表 .....	9
工場出荷時の設定で SMA をリセットする .....	11
<b>SonicWall サポート .....</b>	<b>12</b>
このドキュメントについて .....	13

# はじめに

この「アップグレードガイド」では、SonicWall® Secure Mobile Access (SMA) 100 装置を以前のバージョンの Secure Mobile Access ファームウェアから最新バージョンの SMA 10.2.1 にアップグレードする手順について説明します。このガイドでは、SMA 9.0.0.10-28sv 以降または SMA 10.2.x を実行する装置から SMA 10.2.x を実行する装置に構成設定をインポートする手順についても説明します。サポートされるモデルとファームウェアバージョンの詳細については、「[新しいファームウェアで装置をアップグレードする](#)」と「[構成設定をインポートする](#)」を参照してください。

## トピック:

- [アップグレードに関するナレッジ ベース記事](#)
- [最新の Secure Mobile Access ファームウェアを取得する](#)
- [現在の構成設定のコピーをエクスポートする](#)
- [新しいファームウェアで装置をアップグレードする](#)
- [高可用性で SMA 400/410/500v をアップグレードする](#)
- [セーフモードを使用して SMA 物理装置をリセットする](#)
- [構成設定をインポートする](#)
- [工場出荷時の設定で SMA をリセットする](#)
- [SonicWall のサポート](#)

## アップグレードに関するナレッジ ベース記事

① | **重要:** SMA 装置をアップグレードする前に、次のナレッジ ベース記事を参照してください。

- [SMA 100 シリーズ サポート マトリックス \(英語\)](#)
- [SMA 100 シリーズ装置でファームウェアをアップグレードする方法 \(英語\)](#)
- [SMA100: 構成移行ツール](#)
- [追加で必要な SMA 100 シリーズ 10.X および 9.X ファームウェア更新 \(英語\)](#)
- [SMB SSL-VPN: SMA 500v 仮想装置のファームウェアをアップグレードする \(英語\)](#)

# 最新の Secure Mobile Access ファームウェアを入手する

- ① **メモ:** Secure Mobile Access 10.2 ファームウェアは、SMA 200、210、400、410 装置、および、SMA 500v 仮想装置でのみサポートされます。バージョン 10.2 は SRA 1200/1600/4200/4600 および、それよりも古い装置では利用できません。
- ① **メモ:** 既に SonicWall SMA 装置を登録済みで、「System > Settings (システム > 設定)」ページの「Notify me when new firmware is available (新しいファームウェアが利用可能になった時に通知する)」を選択している場合は、ご使用のモデルに対するアップデートが利用可能になった時に自動的に通知を受けることができます。
- ① **メモ:** SMA 500v 仮想装置に日本語版ファームウェアを初めて展開するには、まず新規展開用の SMA 500v 英語版ファームウェアを仮想装置に展開した上で、「System > Settings (システム > 設定)」ページで SMA 500v 日本語版のファームウェアをアップロードし、工場出荷状態で起動してください (ファームウェアのアップロードと起動方法に関しては、「[新しいファームウェアで装置をアップグレードする](#)」をご参照ください)。

ご使用の SonicWall 装置用の新しい Secure Mobile Access ファームウェア イメージ ファイルを入手するには、以下の手順に従います:

1. 管理コンピュータのブラウザで、MySonicWall (<https://www.mysonicwall.com/>) に移動してアカウントにログインします。
2. MySonicWall の左ナビゲーション ペインで「Product Management > My Products (製品管理 > 製品管理)」に移動して、登録されている装置のリストを表示します。
3. 装置のモデルが表示されている行の上にマウスを移動します。行の右側にオプションが表示されます。
4. 「Firmware (ファームウェア)」アイコンをクリックします。



5. 利用可能なすべてのファームウェア バージョンを表示するために、「Browse All Firmware (すべてのファームウェアを参照)」ボタンをクリックします。

a. 入手するファームウェアの行の上にマウスを移動します。右にオプションが表示されます。

例:

- SonicWall SMA 410 装置は次のようなファイルです。  
sw\_sma410\_\_JA\_10.2.1.0-17sv.sig
- ESXi 用 SonicWall SMA 500v は次のようなファイルです。
  - 既存の ESXi 用 SMA 500v のアップグレード:  
sw\_smavm\_\_JA\_10.2.1.0-17sv.sig
  - ESXi 用 SMA 500v の新規インストール (英語版のみ):  
sw\_smavm\_eng\_10.2.1.0\_10.2.1\_p\_17sv\_1268045.ova

- Hyper-V 用 SonicWall SMA 500v は次のようなファイルです。
    - 既存のHyper-V 用 SMA 500v のアップグレード:  
sw\_smahyperv\_\_JA\_10.2.1.0-17sv.sig
    - Hyper-V 用 SMA 500v の新規インストール(英語版のみ):  
sw\_smahyperv\_eng\_10.2.1.0\_10.2.1\_p\_17sv\_1268045.vhdx.zip
  - Azure 用 SonicWall SMA 500v は次のようなファイルです。
    - 既存のAzure 用 SMA 500v のアップグレード:  
sw\_500vazure\_\_JA\_10.2.1.0-17sv.sig
    - Azure 用 SMA 500v の新規展開は、Microsoft Azure Marketplace (<https://azuremarketplace.microsoft.com/ja-jp/marketplace/>)に移動し、**SonicWallSMA** を検索します。
  - AWS 用 SonicWall SMA 500v は次のようなファイルです。
    - 既存のAWS 用 SMA 500v のアップグレード:  
sw\_500vaws\_\_JA\_10.2.1.0-17sv.sig
    - AWS 用 SMA 500v の新規展開に関しては、SonicWall 営業 (<https://www.sonicwall.com/ja-jp/customers/contact-sales>)または、SonicWall サポート (<https://www.sonicwall.com/ja-jp/support/contact-support>) へお問い合わせください。SonicWall は、インストールに必要な **ami** ファイルを提供します。
  - KVM 用 SonicWallSMA 500v は次のようなファイルです。
    - 既存のKVM 用 SMA 500v のアップグレード:  
sw\_kvm\_\_JA\_10.2.1.0-17sv.sig
    - KVM 用 SMA 500v の新規インストール(英語版のみ):  
sw\_kvm\_eng\_10.2.1.0\_10.2.1\_p\_17sv\_1268045.ova
6. MySonicWall でファームウェアをコンピュータにダウンロードするには、**ダウンロード** アイコンをクリックします。『リリースノート』を表示するには、PDF アイコンをクリックします。



7. Hyper-V 用 SMA 500v の新規インストールの場合、ダウンロードした zip ファイルより VHDX ファイルを展開します。

## 現在の構成設定のコピーをエクスポートする

アップデート処理を開始する前に、SonicWall SMA 装置の構成設定のコピーを、ローカルコンピュータ上にエクスポートしてください。「**EXPORT (エクスポート)**」オプションによって現在の構成設定のコピーを保存できます。これにより、以前の構成状態に戻す必要が生じた場合にも、既存の設定をすべて保護することができます。

SMA 10.2 構成設定のコピーを保存して、ローカルの管理用コンピュータ上のファイルにエクスポートするには、「**System > Settings (システム > 設定)**」ページの「**EXPORT (エクスポート)**」をクリックし、設定ファイルをローカルコンピュータに保存します。既定の設定ファイル名は、**sslvpnsettings-xxxxxxx.zip** です (xxxxxxx は装置のシリアル番号)。

SMA 9.0 またはそれ以前が動作している装置から構成設定をエクスポートするには、SMA 装置の「System > Settings (システム > 設定)」ページに移動し、「Export Settings (設定のエクスポート)」をクリックします。

① **ヒント:** 後で設定を簡単に復元できるように、zip ファイル名を、設定をエクスポートした SonicWall SMA ファームウェアのバージョンを含む名前に変更しておいてください。

△ **注意:** 英語版または日本語版ファームウェアでエクスポートした構成設定は、同じ言語のファームウェアでのみインポートできます。異なる言語のファームウェアでエクスポートした構成設定をインポートした場合、構成設定が破損する場合があります。

## 新しいファームウェアで装置をアップグレードする

このセクションでは、SonicWall SMA 装置に新しいファームウェア イメージをアップロードし、この新しいファームウェアによって装置を再起動する方法を説明します。

次の旧バージョンから SMA 10.2.1 へのファームウェア アップグレードがサポートされます。

- SMA 9.0.0.10-28sv
- SMA 10.2.x

追加の情報に関しては、「<https://www.sonicwall.com/ja-jp/support/knowledge-base/upgrade-path-for-sma100-series/190314100423452/>」を参照してください。

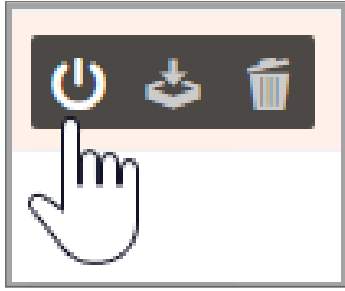
① **メモ:** SonicWall SMA 装置では、以前のファームウェア バージョンにダウングレードしたうえで新しいバージョンの構成設定を使用して装置を直接再起動する操作をサポートしていません。以前のバージョンの Secure Mobile Access ファームウェアにダウングレードする場合は、「**Boot with factory default settings (工場出荷時の設定で起動)**」を選択する必要があります。その後、以前のバージョンで保存された設定ファイルをインポートするか、手動で再構成することができます。

① **メモ:** SonicWall は、メジャー バージョンから次のメジャー バージョンへの段階的なアップグレードプロセスを推奨しています。たとえば、8.0 を実行しているシステムは、バージョン 8.0 から 8.1、次に 8.1 から 8.5、8.5 から 8.6、8.6 から 9.0 に段階的にアップグレードして、その後 9.0 から 10.2 にアップグレードします。バージョンをスキップすることはできませんが、お勧めしません。バージョンのスキップは自己責任でしてください。

△ **注意:** 英語版ファームウェアが実行されている装置で日本語ファームウェアを起動するときなど、異なる言語のファームウェアを起動する場合は、工場出荷時の設定でイメージを再起動しなければなりません。

**新しいファームウェア イメージをアップロードして装置を再起動するには、以下の手順に従います:**

1. Secure Mobile Access イメージ ファイルをダウンロードして、ローカルコンピュータ上に保存します。
2. 「System > Settings (システム > 設定)」ページで、「**UPLOAD NEW FIRMWARE (ファームウェアのアップロード)**」をクリックします。Secure Mobile Access イメージ ファイルを保存した場所を参照して、ファイルを選択し、「**ACCEPT (適用)**」をクリックします。アップロード処理には 1 分ほどかかる場合があります。
3. アップロードが完了すると、SonicWall SMA 装置を新しい Secure Mobile Access イメージで再起動できる状態になります。以下のいずれかを実行します。
  - 現在の設定でファームウェア イメージを再起動する場合は、「**New Firmware (新しいファームウェア)**」行の上にマウスを移動し、右側の起動アイコンをクリックして、「**BOOT FIRMWARE (ファームウェアの起動)**」ダイアログの「**BOOT (起動)**」をクリックします。



- 工場出荷時の設定でファームウェアイメージを再起動する場合は、「New Firmware (新しいファームウェア)」行の上にマウスを移動し、右側の起動アイコンをクリックして、「**BOOT FIRMWARE (ファームウェアの起動)**」ダイアログの「Boot with factory default settings (工場出荷時の設定で起動)」オプションを選択し、「**BOOT (起動)**」をクリックします。
- ① **メモ:** 工場出荷時の設定で SonicWall SMA 装置を再起動する前に、必ず現在の構成設定のバックアップをローカルコンピュータに保存してください(「[現在の構成設定のコピーをエクスポートする](#)」セクションを参照)。
- 「**BOOT (起動)**」をクリックした後、ファームウェアイメージがフラッシュメモリにアップロードされている間は装置の電源を切らないでください。
  - 新しいファームウェアによる SMA 装置の再起動に成功すると、ログイン画面が表示されます。更新されたファームウェアの情報は、「**System > Status (システム > 状況)**」ページと「**System > Settings (システム > 設定)**」ページの「**Current Firmware (現在のファームウェア)**」行に表示されます。

## セーフモードを使用して SMA 物理装置をリセットする

SonicWall SMA 装置の管理インターフェースに接続できない場合には、セーフモードで装置を再起動します。セーフモード機能では、「**System > Settings (システム > 設定)**」ページと同じ設定が利用可能な簡素化された管理インターフェースを使用して、不確実な構成状態から迅速に復旧できます。

セーフモード手順では、SonicWall 装置の前面にある電源ボタンの近くの小さい穴の奥にある**セーフモード** ボタンを使用します。

セーフモードで SMA 装置をリセットするには、以下の手順に従います

- SonicWall SMA 装置の X0 ポートに管理用コンピュータを接続し、管理用コンピュータの IP アドレスを 192.168.200.0/24 サブネット内の IP アドレス、例えば 192.168.200.20 に設定します。
  - ① **メモ:** SonicWall SMA 装置は、セーフモードで最後に設定した LAN IP アドレスにも応答できます。これは、リモート管理復旧やデータセンターでのハンズオフ復旧に役立ちます。
- 先の尖った細い物 (まっすぐにしたクリップや爪楊枝など) を使用して、セキュリティ装置の**セーフモード** ボタンを 5 秒から 10 秒間押し続けます。**セーフモード** ボタンは、前面パネルの USB 接続口の右の小さな穴の中にあります。
  - ① **ヒント:** 電源が入っている状態で、この方法でリセットできない場合は、**セーフモード** ボタンを押したまま装置の電源を落として再度電源を投入し、Test ライトが点滅するまで押し続けます。
- セーフモード管理インターフェースに接続するために、管理用コンピュータのウェブブラウザで <http://192.168.200.1> を開きます。セーフモード管理インターフェースが表示されます。

4. 現在の設定で SonicWall セキュリティ装置の再起動を試みます。「**Current Firmware (現在のファームウェア)**」と同じ行にある起動アイコンをクリックします。
5. SonicWall セキュリティ装置が再起動した後、管理インターフェースをもう一度開きます。それでもまだ管理インターフェースを開くことができない場合は、セーフモード ボタンを使用して装置をもう一度セーフモードで再起動します。セーフモードから、工場出荷時の設定で Secure Mobile Access のファームウェア イメージを再起動します。「**Current Firmware (現在のファームウェア)**」の起動アイコンをクリックし、「**Boot with factory default settings (工場出荷時の設定で起動)**」オプションを選択します。

## 構成設定をインポートする

装置から別の装置に構成設定をインポートすることにより、古い装置を新しいモデルに交換する際の時間を大幅に節約できます。この機能は、複数の装置で類似の構成設定を使用する場合にも役立ちます。

① **メモ:** 日本語版ファームウェアでエクスポートした構成設定ファイルを SMA 500v 仮想装置にインポートするには、まず仮想装置を日本語版ファームウェアにアップグレードしてください(日本語版ファームウェア イメージの入手方法に関しては、「[最新の Secure Mobile Access ファームウェアを入手する](#)」をご参照ください)。

△ **注意:** 英語版または日本語版ファームウェアでエクスポートした構成設定は、同じ言語のファームウェアでのみインポートできます。異なる言語のファームウェアでエクスポートした構成設定をインポートした場合、構成設定が破損する場合があります。

一般的に、9.0 または 10.2 を実行する以下の SonicWall SMA 装置から、SMA を実行する SonicWall 装置に構成設定 (環境設定) をインポートすることができます。

- SMA 410
- SMA 400
- SMA 210
- SMA 200
- ESXi 用 SMA 500v
- Hyper-V 用 SMA 500v
- Azure 用 SMA 500v
- AWS 用 SMA 500v
- KVM 用 SMA 500v

設定をインポートする際にバージョンをスキップすることは推奨されません。バージョン間で設定をインポートする前に、「ファームウェア バージョン別 SMA 構成 インポート/エクスポートのサポート」テーブルのサポートされるシナリオをご覧ください。

構成設定の移行または古いファームウェアから新しいファームウェアへのアップグレードに関しては、次の『ナレッジベース』記事を参照してください:

<https://www.sonicwall.com/ja-jp/support/knowledge-base/sma-100-series-support-matrix/170502818222962/>

SMA 10.2 を実行する装置に構成設定をインポートするには、「**System > Settings (システム > 設定)**」ページに移動し、「**IMPORT (インポート)**」をクリックします。保存された設定をインポートするための設定ファイルを選択し、SMA 装置を再起動します。「**Import the settings partially (設定を部分的にインポートする)**」オプションを有効にすると、インターフェース、ルート、DNS、WINS、および、ライセンスなどの装置の設定が上書きされることを防ぎます。



以下の各セクションの表では、他の Secure Mobile Access 100 モデルおよびファームウェアに構成設定をインポートするときにサポートされるファームウェア バージョンまたはモデルを詳細に示します。

- [構成のインポートをサポートする SMA バージョン](#)
- [プラットフォーム別の構成インポートのサポート表](#)

① **メモ:** SMA 100 シリーズと SMA 1000 シリーズは製品ラインが異なるため、同じファームウェアは実行できません。現時点で、SMA 100 シリーズのプラットフォームでは SMA 8.x/9.x/10.x を実行できます。SMA 1000 シリーズのプラットフォームでは異なるソフトウェアである SMA 11.x または SMA 12.x を実行できます。

## 構成のインポートをサポートする SMA バージョン

次の表は、装置から装置に構成設定をインポートするときにサポートされるインポート元とエクスポート先の SMA のバージョンを示しています。

### ファームウェア バージョン別 SMA 構成インポート/エクスポートのサポート

		先				
		SMA 8.1	SMA 8.5	SMA 8.6	SMA 9.0	SMA 10.2
元	SMA 8.1	Y	Y	Y	N	N
	SMA 8.5	N	Y	Y	N	N
	SMA 8.6	N	N	Y	Y	N
	SMA 9.0	N	N	N	Y	Y
	SMA 10.2	N	N	N	N	Y

上記の回答が「Y」の場合、以下の表で個別の製品を参照してください

上記の回答が「N」の場合、この構成アップグレードはサポートされていません

① **メモ:** バージョンのダウングレードはサポートしていません。

## プラットフォーム別の構成インポートのサポート表

このセクションの表は、SMA 10.2.1 を実行する SonicWall SMA プラットフォームに構成設定をインポートできる SonicWall SMA 装置を示しています。インポート元の SMA 装置を左側の列に、エクスポート先の SMA 装置を上部に示します。

この表の凡例は次のとおりです。

Y	サポート
N	サポート対象外

プラットフォーム別 SMA 構成設定インポートのサポート

		エクスポート先の装置								
		SMA 200	SMA 210	SMA 400	SMA 410	ESXi 用 SMA 500v	Hyper-V 用 SMA 500v	Azure 用 SMA 500v	AWS 用 SMA 500v	KVM 用 SMA 500v
イ	SMA 200	Y	Y	N	N	N	N	N	N	N
ン	SMA 210	Y	Y	N	N	N	N	N	N	N
ポ	SMA 400	N	N	Y	Y	N	N	N	N	N
	SMA 410	N	N	Y	Y	N	N	N	N	N
ト	ESXi 用 SMA 500v	N	N	N	N	Y	Y	N	N	N
元										
の	Hyper-V 用 SMA 500v	N	N	N	N	Y	Y	N	N	N
装										
置	Azure 用 SMA 500v	N	N	N	N	N	N	Y	Y	Y
	AWS 用 SMA 500v	N	N	N	N	N	N	Y	Y	Y
	KVM 用 SMA 500v	N	N	N	N	N	N	Y	Y	Y

- ① **メモ:** クラスタリング、インポート/エクスポート、ライブマイグレーション (Hyper-V)、vMotion (ESXi) など、ハイパーバイザの基本機能は、SMA 500vでもサポートされます。
- ① **メモ:** SMA 400からの高可用性構成設定を SMA 500vでインポートすると、高可用性は正しく機能しません。SMA 500v 高可用性ペアに高可用性を直接構成する必要があります。

装置バージョン別 SMA 構成のインポート/エクスポートのサポート

SMA 100 シリーズ装置	8.x	9.x	10.x	10.2.0	10.2.1
SMA 200	Y	Y	Y	Y	Y
SMA 210	N	Y	Y	Y	Y
SMA 400	Y	Y	Y	Y	Y
SMA 410	N	Y	Y	Y	Y
SMA 500v (ESXi)	Y	Y	Y	Y	Y
SMA 500v (Hyper-V)	N	N	Y	Y	Y
SMA 500v (AWS)	N	N	N	Y	Y
SMA 500v (Azure)	N	N	N	Y	Y
SMA 500v (KVM)	N	N	N	N	Y

# 工場出荷時の設定で SMA をリセットする

工場出荷時の設定で SMA をリセットするには、以下の手順に従います:

1. 「System > Settings (システム > 設定)」に移動します。
2. 「Settings Management (設定管理)」で「Export Settings (設定のエクスポート)」をクリックして、ローカルの設定ファイルを選択します。
3. 「Firmware Management | Current Firmware (ファームウェア管理 | 現在のファームウェア)」の下にある電源ボタンをクリックします。
4. 表示されたポップアップ ウィンドウの「Boot with factory default settings (工場出荷時の状態で起動する)」チェックボックスを有効にします。



5. 「Boot (起動)」をクリックします。

## SonicWall サポート

有効なメンテナンス契約が付属する SonicWall 製品をご購入になったお客様は、テクニカルサポートを利用できます。

サポート ポータルには、問題を自主的にすばやく解決するために使用できるセルフヘルプ ツールがあり、24 時間 365 日ご利用いただけます。サポート ポータルにアクセスするには、次の URL を開きます：

<https://www.sonicwall.com/ja-jp/support>.

サポート ポータルでは、次のことができます。

- ナレッジベースの記事や技術文書を開覧する。
- 次のサイトでコミュニティ フォーラムのディスカッションに参加したり、その内容を開覧したりする：  
<https://community.sonicwall.com/technology-and-support>.
- ビデオ チュートリアルを視聴する。
- 次にアクセスする：<https://mysonicwall.com>
- SonicWall のプロフェッショナル サービスに関して情報を得る。
- SonicWall サポート サービスおよび保証に関する情報を確認する。
- トレーニングや認定プログラムに登録する。
- テクニカル サポート やカスタマー サービスを要求する。

SonicWall サポートに連絡するには、次の URL を開きます：<https://www.sonicwall.com/ja-jp/support/contact-support>.

# このドキュメントについて

- ① | **メモ:** メモアイコンは、補足情報があることを示しています。
- ① | **重要:** 重要アイコンは、補足情報があることを示しています。
- ① | **ヒント:** ヒントアイコンは、参考になる情報があることを示しています。
- △ | **注意:** 注意アイコンは、手順に従わないとハードウェアの破損やデータの消失が生じる恐れがあることを示しています。
- △ | **警告:** 警告アイコンは、物的損害、人身傷害、または死亡事故につながるおそれがあることを示します。

Secure Mobile Access アップグレードガイド -- SMA 100 シリーズ  
更新日 - 2021年6月  
ソフトウェアバージョン - 10.2  
232-005271-00 Rev B

Copyright © 2021 SonicWall Inc. All rights reserved.

本文書の情報はSonicWallおよびその関連会社の製品に関して提供されています。明示的または暗示的、禁反言にかかわらず、知的財産権に対するいかなるライセンスも、本文書または製品の販売に関して付与されないものとします。本製品のライセンス契約で定義される契約条件で明示的に規定される場合を除き、SONICWALL および/またはその関連会社は一切の責任を負わず、商品性、特定目的への適合性、あるいは権利を侵害しないことの暗示的な保証を含む(ただしこれに限定されない)、製品に関する明示的、暗示的、または法定的な責任を放棄します。いかなる場合においても、SONICWALL および/またはその関連会社が事前にこのような損害の可能性を認識していた場合でも、SONICWALL および/またはその関連会社は、本文書の使用または使用できないことから生じる、直接的、間接的、結果的、懲罰的、特殊的、または付随的な損害(利益の損失、事業の中断、または情報の損失を含むが、これに限定されない)について一切の責任を負わないものとします。SonicWall および/またはその関連会社は、本書の内容に関する正確性または完全性についていかなる表明または保証も行いません。また、事前の通知なく、いつでも仕様および製品説明を変更する権利を留保し、本書に記載されている情報を更新する義務を負わないものとします。

詳細については、次のサイトを参照してください: <https://www.sonicwall.com/ja-jp/legal>.

## エンドユーザ製品契約

SonicWall エンドユーザ製品契約を参照する場合は、以下に移動してください: <https://www.sonicwall.com/ja-jp/legal/end-user-product-agreements/>.

## オープンソースコード

SonicWall Inc. では、該当する場合は、GPL、LGPL、AGPL のような制限付きライセンスによるオープンソースコードについて、コンピュータで読み取り可能なコピーをライセンス要件に従って提供できます。コンピュータで読み取り可能なコピーを入手するには、"SonicWall Inc." を受取人とする 25.00 米ドルの支払保証小切手または郵便為替と共に、書面による要求を以下の宛先までお送りください。

General Public License Source Code Request  
Attn: Jennifer Anderson  
1033 McCarthy Blvd  
Milpitas, CA 95035